

変わらないから見えてくる

あけましておめでとうございます。

お正月、あるところで抹茶のふるまいをうけながら
むかし外国人の先生からうかがった話を思い出しました。
彼女は長く茶道を習い、その深みに魅了されていました。
しかし、はじめたころ批判ばかりしていたそうです。
お茶をいただくだけなのに何故こんな細かい決まりが？
それでもやめずに続けて、ある程度作法を覚えた頃
勇気をだして師匠に疑問をぶつけてみました。

すると、師匠いわく

「最初はこと細かい決まり事に面食らうでしょう。

でも大事なものは、実は作法ではないのよ。

いちばん大切なのは人間。目の前の方々に精一杯心を向けること。

決まり事がなければいつも作法にばかり気をとられてしまうでしょ。

決まり事があるから、一度身につければもう作法のことは考えず

心をすべてお客さまに向けられるの」

教会のクリスマス礼拝で小中学生がページェントを披露してくれました。

「とんとんとん、やどやさん」「わたしのもったこのたから～」

つくしの卒園生たちは何年も前の歌とセリフなのに、すぐによみがえる。

そのはず、保育園で乳児の頃から毎年親しみ憧れ続けた舞台でした。

終了後、一人のお母さんがハンカチで目をおさえながら

「いま観ても、年長のあの日を思い出して心があつくなりました」

つくし保育園にはずっと変わらぬ作法があります。

安定した毎日の生活は子どもたちが安心して暮らし続けられるように。

そして年に一度のクリスマス。ずっと変わらぬイエスさまの降誕物語。

変わらないものがいっぱいあるから

私たちはいつも子どもたちに精一杯心を向けて

その成長を発見し、感動し、心の底から喜ぶことができるのです。

新しい一年もみなさまのうえに神さまのお守りがありますように。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<だいで教会より>

今月は楽しい合同礼拝のあと、おぜんざいでお正月を祝います。

1月27日(日)午前10:30～。はじめての方もお気軽に。

ぜんざい参加は1/23(火)までに事務室へ。